



あなたは大丈夫？

気をつけよう！ニセ電話詐欺



電話などで現金をだまし取られる「ニセ電話詐欺」。様々なメディアでも注意するように呼びかけられていますが、私たちはどのようなことに気をつけられればいいのでしょうか？ニセ電話詐欺の被害状況や内容などについてお伝えします。

ニセ電話詐欺とは

被害者に電話をかけるなどして対面することなく、指定した預貯金口座への振り込みやその他の方法により、不特定多数の方から現金をだまし取る犯罪の総称です。**オレオレ詐欺・預貯金詐欺・架空料金請求詐欺・還付金詐欺など10種類に分類されます。**長崎県警では、令和4年1月から「特殊詐欺」を「ニセ電話詐欺」と呼称変更して注意を呼びかけられています。



県内の被害状況（令和4年累計）

（ ）は令和3年累計比

手口	認知件数	被害総額
オレオレ詐欺	4件 (+4)	52,500,000円
預貯金詐欺	1件 (±0)	130,000円
架空料金請求詐欺	84件 (+23)	129,241,534円
還付金詐欺	13件 (-8)	8,704,578円
その他(融資保証金詐欺、金融商品詐欺など)	11件 (-3)	11,046,580円
合計	113件 (+16)	201,622,692円 (-67,280,212)

参考：長崎県警察HP、警察庁HP

令和4年の長崎県内でのニセ電話詐欺被害は113件で、前年より16件増加しました。被害総額は約6,730万円減少したものの、令和元年以降、被害件数は年々増え続けています。(令和元年累計 被害件数36件)全国的にも年代にかかわらず被害は深刻で、長崎県と同様に被害件数は増加、被害総額は減少している傾向がみられます。以前に比べ少額の詐欺が増えているのかもしれない。

還付金詐欺

医療費、保険料の過払い金や、一部未払いの年金があるなど、お金を受け取れるという内容の詐欺です。**還付金がある場合、電話やATMで手続きを促すことはありません。**

キャッシュカード詐欺盗

警察官などと偽って電話をかけ「キャッシュカードが不正に利用されているので、預金を保護する手続きをする」などと説明し、キャッシュカードを盗み取る手口です。**警察官、銀行職員などが暗証番号を聞いたり、自宅にキャッシュカードを預かりに来ることはありません。**

架空料金請求詐欺

インターネットの未納料金があるなど、実際には使用していない料金を支払わせようとする詐欺です。

例)・携帯電話にショートメッセージが送られる。

・法務省や裁判所などの名称で自宅にはがきが送付される。 など

はがきなどにある連絡先には連絡しないこと。「現金を送れ」「コンビニで電子マネーを買って」という案内は相手にしないようにしましょう。

県北エリア委員会

「詐欺被害防止学習会」に参加しました！

2022年12月2日 開催

ニセ電話詐欺について、事例DVDの視聴や、実際にかかってきた詐欺の音声聞いて学習しました。相手は言葉たくみで、自然な流れで話を聞いてしまいそうでした。しっかり内容を聞き取り、冷静に判断しなければいけないと改めて感じました。



長崎県警のホームページで、犯人からの実際の音声聞くことができます。

また「**安心メール・キャッチくん**」で、ニセ電話詐欺の発生や被害防止に関する情報について、電子メールで配信されています。

ニセ電話詐欺に関するご相談は「警察情報ダイヤル」**0120-110874(110番へハナシてみよう)**

詐欺被害に遭わないために

- ・常に留守番電話機能を設定しておく。
- ・迷惑電話防止機能を設定する。
- ・公的機関の名称を出されても信用しない。
- ・電話でお金が出たら、電話を切って相談する。
- ・個人情報や暗証番号を教えない。
- ・事前に家族の合言葉を決めておく。など



詐欺の手口は年々多様化しています。「私は大丈夫」と思っている、焦りから冷静な判断ができなくなる場合もあります。怪しい!と感じたら、1人で判断せずに家族や周りの方、警察に相談しましょう。

③らしのこと ⑤らこーぶと ⑩ろう!